

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

<p>①西久保浩二著『介護クライシス』旬報社 (211頁, 四六判)</p> <p>介護は、企業の視点からみれば、競争力の基盤である中核人材の喪失やパフォーマンスの低下(介護クライシス)につながる。一方、介護をする従業員本人にとっては、40代、50代の管理職という年代ならば、激務のなかでの老親介護という課題に直面することになる。こうした危機を抜け出すために必要なのは、企業による支援。しかし、経団連の福利厚生費調査では、法定外福利厚生費のなかで育児への援助が15年間で10倍以上になったのに対し、介護はほぼ横ばい。NECグループなど先進事例に取り組んでいる3つのケースを紹介しながら、筆者は「育児支援の応用型ではない、老親介護リスクの本質とその特性を認識したうえで現実的で有効な対応が必要」と主張。</p>	<p>③濱口桂一郎著『日本の雇用紛争』独立行政法人労働政策研究・研修機構 (322頁, A5判)</p> <p>本書は、政府の雇用制度改革の一環としての「予見可能性の高い紛争解決システムの構築」を図るためにJILPTが実施した調査研究をまとめたもの。「労働局あっせん」「労働審判」及び「裁判上の和解」の3つの個別労働紛争解決システムのなかで、2012年度に受理した労働局あっせん事例を軸に、日本の雇用紛争の内容を分析。その結果、「合意形成」で終了した事案324件のうち、合意が「金銭解決」であるのは313件であり、96.6%。労働審判、裁判上の和解でもそれぞれ96.0%、90.2%で、圧倒的多数が金銭解決だった。さらに、「雇用紛争の法政策の推移」、雇用終了以外の事案と退職をめぐるトラブルの分析も追加。2012年刊行の『日本の雇用終了』を全面改訂。</p>
<p>②三輪卓己著『知識労働者の人的資源管理』中央経済社 (iv+VI+296頁, A5判)</p> <p>知識社会で働く知識労働者に関する研究が盛んになっているが、効果的な人的資源管理研究が豊富に蓄積されているとは言えない。本書は、こうした状態から研究を進展させるため、先行研究レビューや企業事例の検討により、知識労働者の人的資源管理の実態を分析、その意義や課題を提示する。具体的には、知識労働者の人的資源管理を「強い成果・能力主義型」「プロセス重視の成果主義型」「市場志向型」「非競争型」に4分類し、企業への定着、相互作用、キャリア発達を解明する。前著『知識労働者のキャリア発達』では、知識労働者が自らの意志でキャリアを切り拓く姿を分析したが、本書では、彼らの活躍と成長を促す企業のマネジメントを明らかにしようとしている。</p>	<p>④石渡嶺司著『女子学生はなぜ就活で騙されるのか』朝日新聞出版 (270頁, 新書判)</p> <p>キャリアも重ねたいし、結婚や出産もしたい。総合職か一般職かも迷う。女子の就職活動は悩ましく、情報に踊らされる人も少なくない。彼女たちは何に騙されたのかを学生の就職事情に明るい著者が解き明かす。例えば、経団連の広報解禁・選考開始時期協定は、強制力が弱く、遵守するかどうかは、会員企業の思惑次第。さらにインターン。いまや就活に必須のこの就業体験も名ばかりのものが増え、1日で終わるものや単なるアルバイトと化しているケースもみられるという。一方、地元にとどめたい親に説得される人や難関校に負けじと学生にアレコレ強いる大学の就職課に騙される女子も。広告掲載料で運営される就職ナビサイトも結局、企業を大事にしていると警告する。</p>

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2016年1—2月労働図書館受け入れ)

- ⑤細沢祐樹著『老後貧困から身を守る』講談社(159頁, 四六判)
- ⑥響城れい著『社長、業績を上げたいなら女性社員を辞めさせないで!』バレード(156頁, 四六判)
- ⑦島村曉代著『高齢期の所得保障: プラジール・チリの法制度と日本』東京大学出版会(xi+333頁, A5判)
- ⑧高橋賢司著『労働法講義』中央経済社(2+7+332頁, A5判)
- ⑨岩出誠著『労働法実務体系』民事法研究会(37+931頁, A5判)
- ⑩加茂浩靖著『人材・介護サービスと地域労働市場』古今書院(iv+248頁, A5判)
- ⑪小宮善継著『発達障害のある人の就活成功バイブル』幻冬舎メディアコンサルティング(179頁, 新書判)
- ⑫大槻奈巳著『職務格差: 女性の活躍推進を阻む要因はなにか』勁草書房(x+373+xvii頁, A5判)
- ⑬辻智子著『繊維女性労働者の生活記録運動』北海道大学出版会(ix+431+62頁, A5判)
- ⑭乙部由子他編著『社会福祉とジェンダー』ミネルヴァ書房(x+360頁, A5判)

労働図書館(資料センター) <http://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書115,000冊、洋書30,000冊、和洋の製本雑誌25,000冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(285種)、洋雑誌(120種)、紀要(510種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特にILO(国際労働機関)総会の議事録やOECD(経済協力開発機構)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
 開館時間: 9:30 ~ 17:00
 休館日: 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日~1月4日)、その他
 電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659
 利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです
 ※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください
 レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています

